

# Anna先生のLife in JAPAN

Vol.26

■ Anna・George

- ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
- ・2010年8月から只見町英語指導助手。
- ・小学校と中学校で語学の指導を行います。



2月もまた大雪に見舞われました。冬は本当に美しいと思うのですが、春には今すぐ来てほしいです。

今年も「只見雪まつり」に行ってきました。本当にすてきな時間を過ごし、おいしいものを食べました。特に「マトンケバブ」。花火もとてもすてきでした。いつの日か、また只見の雪まつりに来てみたいと思います。

先日、只見中のスキー教室があり、私も参加してきました。生徒のみなさんは本当に上手にスキーを滑っていました。私はスキーが全くできないので、スノーボードで参加したのです

が、まだまだ上手ではありません。

もうすぐ卒業式になります。3年生が去ってしまうのはとても悲しいです。卒業生全員の進路の先に幸運とすばらしい時間が待っていることを祈っています。また、小学6年生が只見中学校に入学してきてくれることも楽しみにしています。そのみなさんも只見中学校で楽しい中学校生活を送るよう期待しています。

(訳・只見中・平野)



## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 菅家 智史

### 『電子カルテを導入します』

今年も積雪が多く、気温も低い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。私は先日、足を滑らせて転倒し左手を地面に打ち付けてしまいました。幸い骨折せず済みましたが、転倒しやすい日々は続きますのでどうぞお気をつけください。

さて、今回は朝日診療所の設備についてのお話です。朝日診療所には「医療機器委員会」があり、医療機器の管理・更新などを担当しています。朝日診療所が新築移転してから8年が経過し、医療設備も徐々に古くなってきています。器械によって使用できる期間や耐久性が異なりますので、使用状況を見ながら順次入れ替えを行なっています。昨年は超音波検査の器械や血液検査の器械などを更新しました。あくまでも「診療所」ですので、大規模病院のように最先端の器械とまではいきませんが、診療所での必要性に合わせ、十分な機能を持つ機器を、計画的に入れ替えていきたいと考えています。

そして3月下旬、朝日診療所ではこれまで使っていた紙のカルテを電子カルテに変更します。全国的に見ると2000年代から電子カルテの導入が進められてきました。他の医療機関を受診した際に、医師や看護師がパソコン

コンに向かってカチャカチャやっている様子をご覧になったこともあるかと思います。電子カルテを導入することで、倉庫や棚から紙カルテを探す必要がなくなる、紙のカルテを必要がなくなる、過去のデータをすぐに見ることができるといった、長期的にみて良い点が多いと考えています。

導入からしばらくの期間、職員が電子カルテに慣れるまで、診察・会計などでお待たせしてしまうことがあるかと思えます。看護師不足の状態も続いており、皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、できるだけ待ち時間が少なくなるように体制を整えていきます。

今後も町民の皆さんにとって身近な診療所としてお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

